

令和5年度当初予算案における主要な施策

部 局 名
県 土 整 備 部

新規事業及び重要事業総括表

I 総額

【一般会計】

区分	令和5年度	令和4年度	伸び率
予算総額	107,782,645千円	105,442,133千円	2.2%
一般会計構成比	4.9%	4.7%	—

【用地事業特別会計】

区分	令和5年度	令和4年度	伸び率
予算総額	1,775,574千円	1,045,950千円	69.8%

【公共事業の状況】

	令和5年度	令和4年度	増減額	伸び率
道路	57,131,856千円	55,459,028千円	1,672,828千円	3.0%
河川	23,187,237千円	24,539,182千円	△1,351,945千円	△5.5%
直轄	11,188,000千円	11,183,000千円	5,000千円	0.1%
合計	91,507,093千円	91,181,210千円	325,883千円	0.4%
(直轄除く)	80,319,093千円	79,998,210千円	320,883千円	0.4%

新規事業及び重要事業総括表

(単位 千円)

II 主な新規事業及び重要施策

1 災害に強い県土づくり

P 5	一部新規	埼玉版流域治水対策の継続と深化 【河川砂防課・河川環境課】	12, 435, 647
P 6		ミッシングリンクの解消による道路網の多重化 【道路街路課】	4, 022, 607
P 7		橋りょうの計画的な点検・修繕・更新及び耐震補強 【県土整備政策課・道路街路課・道路環境課】	14, 053, 164
P 8	新規	ドローンを活用した法面点検の実施 【道路環境課】	48, 000
P 9		市街地の強靱化のための無電柱化スピードアップ 【道路環境課・道路街路課】	4, 046, 857

新規事業及び重要事業総括表

(単位 千円)

2 生活の質を高める県土づくり

P10	新規	止まって安全！通学路グリーンスポット整備の推進	【道路街路課】	200,000
P11		暮らしの安全安心を支える歩道や自転車通行空間の整備	【道路街路課・道路環境課】	2,745,000
P12		円滑な交通と安全を確保する交差点整備の推進	【道路街路課】	925,000
P13		安全・安心を確保するための道路の維持管理	【道路環境課】	15,086,069
P14	一部新規	インフラ建設管理におけるDXの推進	【建設管理課・道路環境課・河川環境課】	523,252
P15		河川・砂防施設の管理徹底、強化	【河川環境課・河川砂防課】	12,299,869

3 地域の良さを活かす県土づくり

P16		直轄事業と連携した骨太の道づくり	【道路街路課】	4,439,380
P17		産業拠点を支えるインフラ整備	【道路街路課】	1,692,200
P18		鉄道高架で踏切ゼロ！の推進	【道路街路課】	3,172,191
P19		Next川の再生の推進	【河川環境課】	604,917

一部新規

担当 河川砂防課 荒川中流・小山川流域担当、荒川上流域・砂防担当、防災担当
河川環境課 河川設備担当

内線 5135、5141、5137、5115

目的

河道や調節池の整備、土砂災害対策などを加速化し「防災力」を高めるとともに、情報空白地帯への水位計や河川監視カメラの設置など「減災力」も高める施策を進めることで、あらゆる関係者と協働した「流域治水」を推進し、レジリエントな社会の実現を目指す。

事業概要

1 激甚化する水災害などへの備え 11,660,647千円

(1) 河川施設整備の加速化 9,952,037千円
河道や調節池の整備を計画的に推進し、治水安全度の向上を図る。

(2) いのちとくらしを守る土砂災害対策 1,348,610千円
砂防関係施設整備を計画的に推進し、土砂災害の防止や地域の安全確保を図る。

(3) 流域対策の強化 360,000千円
学校の校庭に雨水を一時的に貯める流域対策を行い、河川への流出抑制を図る。



2 ITを活用した河川防災情報の拡充 169,000千円

(1) 河川情報の充実(新規) 169,000千円
河川情報の充実と河川施設の遠隔操作システムの構築により、迅速確実な水防体制の構築と住民避難を実現する。

新規・拡充内容

- 水位計、河川監視カメラ等の設置【拡充】
水位計、河川監視カメラ、越水監視機器を設置し、河川情報の空白地帯解消を実現する
- 水門の遠隔操作システムの導入【拡充】
水門の遠隔操作により、効率的な施設操作を実現する



3 排水機場の機能保全 606,000千円

(1) 河川施設の耐震性能の確保 606,000千円
排水機場の耐震性能を確保することで震災時の機能損失を回避し、洪水時の運転操作に支障が出ないように備える。

担当 道路街路課 国道担当、街路担当
内線 5074

目的

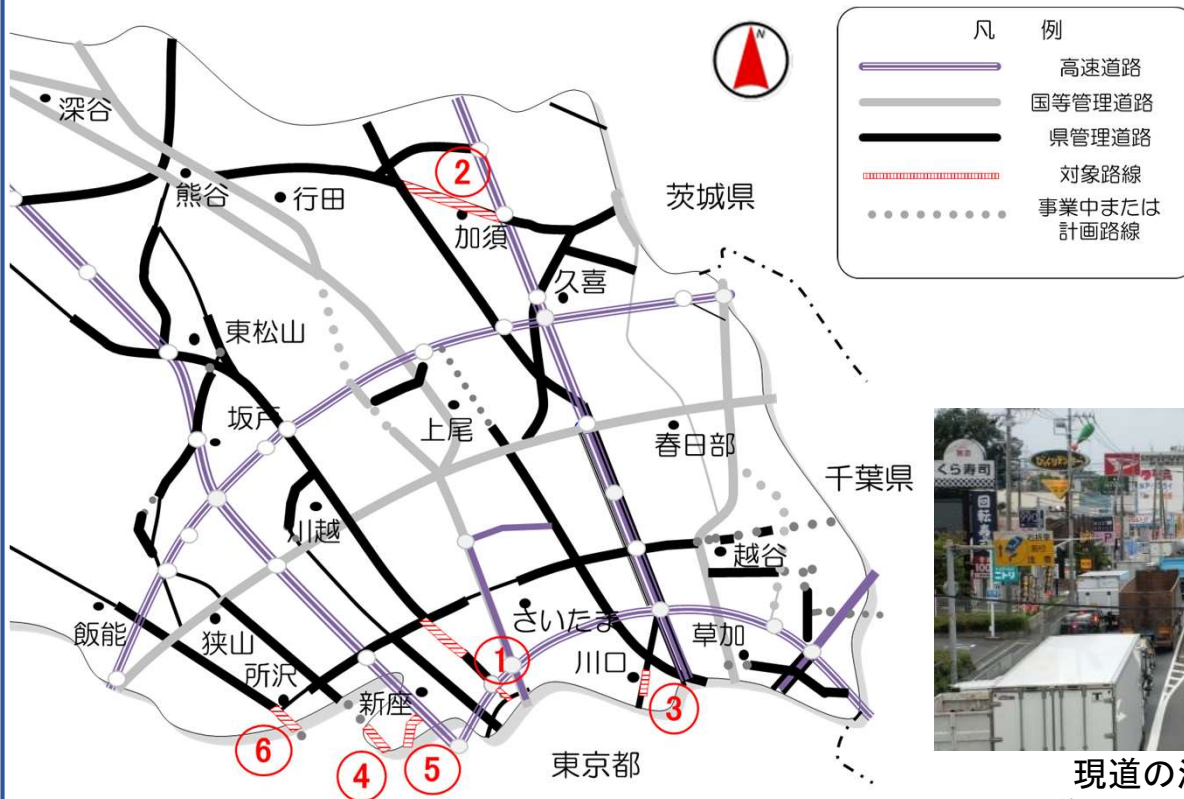
幹線道路網を多重化することにより、円滑な交通を確保し、隣接都県との「人の交流」、「物流」の活性化を図るとともに、災害発生時には、代替ルートの確保により、迅速な避難や救援物資等の円滑な輸送等、「災害に強い県土」の形成を図る。

事業概要

1 ミッシングリンクの解消による道路網の多重化 4,022,607千円

(1) 隣接する都県を繋ぐ幹線道路におけるミッシングリンクの解消 4,022,607千円

隣接都県と繋がる幹線道路の未接続箇所や暫定2車線区間の多車線化などを6路線9箇所を実施する。



No	路線	工区	市町村
①	国道254号	和光富士見バイパス 和光バイパス	朝霞市・志木市 和光市
②	国道125号	加須羽生バイパス	加須市・羽生市
③	国道122号 ((都)日光東京線)	本町ロータリー 上之橋	川口市 川口市
④	(都)放射7号線	栗原・新堀	新座市
⑤	(都)保谷朝霞線	野寺・道場	新座市
⑥	(都)飯能所沢線	3工区 4工区	所沢市 所沢市



現道の渋滞状況
国道254号（新座市内）



整備状況
国道254号（和光富士見バイパス）

担当 県土整備政策課 政策担当
 道路街路課 橋りょう担当
 道路環境課 防災担当
 内線 5018、5068、5107

目的

埼玉県が管理する橋りょうの多くが高度経済成長期に建設され、老朽化に伴い多くの維持管理費を要している。道路機能の安全性と信頼性を持続的に確保するため、橋りょうの計画的な点検・修繕・更新を行うとともに、大規模地震の発生に備え、耐震補強を進める。

事業概要

1 橋りょうの計画的な点検・修繕・更新及び耐震補強 14,053,164千円

(1) 着実な点検の実施 473,000千円

- ・ 橋りょうの劣化の進行状況や補修の必要性を把握するため、5年に1回の定期点検を行う。
- ・ 令和5年度においては、606橋の定期点検を行う。

(2) 修繕及び更新の実施 9,280,164千円

- ・ 橋りょうの安全性を確保するため、計画的な橋りょうの修繕（維持補修）や更新（架換え）を行う。
- ・ 橋りょう保全計画に基づき、以下の箇所の修繕及び更新を行う。
 - 修繕（維持補修）：一般県道次木杉戸線（宝珠花橋／春日部市）など173箇所
 - 更新（架換え）：一般国道407号（片柳二号橋／坂戸市）など37箇所

(3) 耐震補強の実施 4,300,000千円

- ・ 大規模地震の発生に備え、耐震補強を行う。
 - 主要地方道保谷志木線（いろは橋／志木市）など46箇所



主桁腐食事例



橋りょう架換え工事
 一般国道407号（片柳二号橋）

新規

担当 道路環境課 防災担当
内線 5107

目的

吹付法面の老朽化が進んでおり、法面崩落による通行止めなど交通への影響が発生している。
このため、新技術を導入した新たな点検手法の展開を図り、道路利用者が安全に通行できるよう予防保全によるインフラの安全性確保を目指す。

事業概要

1 赤外線カメラ搭載ドローンによる法面空洞等の調査 48,000千円

(1) 緊急輸送道路における調査 (新規) 48,000千円

- ・ 赤外線カメラを搭載したドローンによる法面空洞等の調査をモデル的に実施する。
- ・ 緊急輸送道路（国道299号）26kmにおける調査（特定道路土工構造物を除く）

○ 法面崩落の例



○ 調査のイメージ

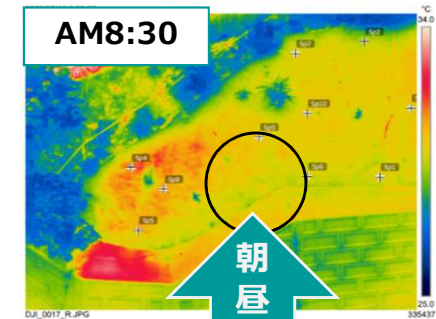


調査対象となる吹付法面の例

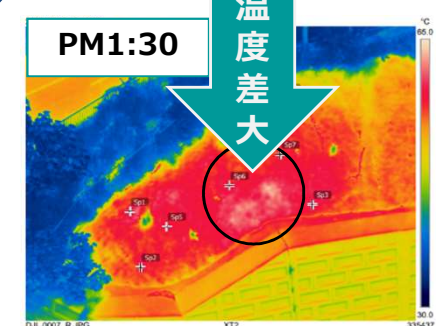
新技術



赤外線カメラ搭載ドローン



朝昼の温度差大



同地点を朝昼2回計測し、温度差が大きい箇所では空洞の恐れ
→ ひび割れ発生状況等も考慮して劣化状態を診断する。

担当 道路環境課 交通事故緊急対策担当
道路街路課 街路担当
交通安全施設整備担当
内線 5098、5056、5086

目 的

大地震や台風等の災害時に電柱倒壊や断線等により道路が閉塞することで想定される避難や救急活動への支障、停電や通信障害のリスクの軽減を図るため、無電柱化を推進する。

事業概要

1 『第2次埼玉県無電柱化推進計画(令和4年7月策定)』に基づく無電柱化事業の推進 4,046,857千円

(1) 『脱・電柱社会』の実現に向けた無電柱化事業の推進 4,046,857千円

防災性の向上の観点から、災害時の緊急車両等の通行空間を確保する緊急輸送道路において、無電柱化を推進する。また、無電柱化により、安全で円滑な交通の確保や、景観形成及び観光振興の観点から高い効果が期待される道路についても整備を推進する。

〔令和5年度 実施箇所〕

川越所沢線など 35路線39箇所

〔大地震・台風等の災害時写真〕



阪神淡路大震災による電柱倒壊



平成30年台風第21号による電柱倒壊



無電柱化の整備箇所
(都) 中央通停車場線 (志木市)

〔無電柱化の整備箇所写真〕



無電柱化の整備箇所
(都) 中央通り線 (川越市)

新規

担当 道路街路課 交通安全施設整備担当
内線 5097

目的

児童など横断者が安全に待機でき、車両に認知されやすい道路環境を創出し、更なる安全安心の向上を図る。

事業概要

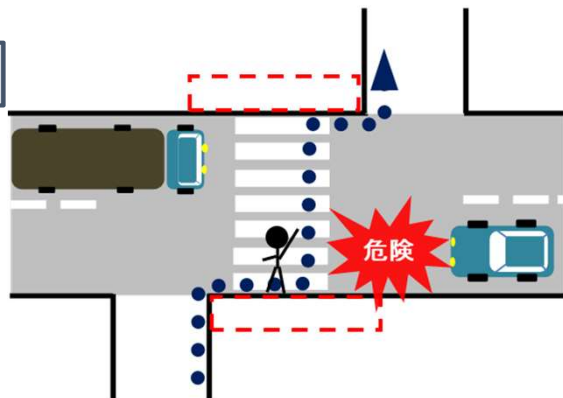
1 止まって安全！通学路グリーンスポット整備の推進 200,000千円

(1) 止まって安全！通学路グリーンスポット整備の推進(新規) 200,000千円

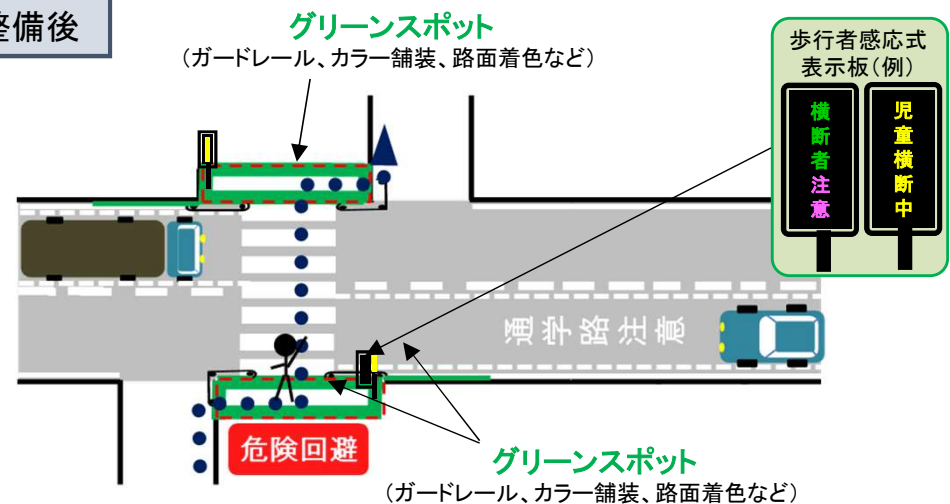
- ・横断者が安全に待機し、道路を渡れるよう、ガードレールなどの安全施設を設置し、合わせて、カラー舗装や路面表示などにより「通学路グリーンスポット」を整備する。
- ・児童・生徒の横断者数、信号機の設置状況などを踏まえ、優先整備箇所を選定し、令和8年度までに20箇所を完成させる。

○ 整備のイメージ

整備前



整備後



担当 道路街路課 交通安全施設整備担当
 道路環境課 交通事故緊急対策担当
 内線 5097、5098

目 的

埼玉県における令和4年の交通事故死者数は104人(全国ワースト8位)を数え、依然として高い状況にある。交通事故死者数のうち歩行者の占める割合が約5割と最も高いことから、歩行者に対する交通安全対策が喫緊の課題となっているため、歩行者と自動車を分離する歩道整備を進める。
 また、自転車事故死者数については、埼玉県では全体の2割を占めており、例年全国ワースト上位に位置しているため、安全で快適な自転車通行空間の整備を推進する。

事業概要

1 暮らしの安全安心を支える歩道や自転車通行空間の整備 2,745,000千円

(1) 暮らしの安全安心を支える歩道整備の推進 2,646,000千円

児童を中心とした歩行者の安全を確保するため、通学路及び未就学児の移動経路を優先して、歩道整備を進める。
 (令和5年度実施箇所：深谷嵐山線など109箇所)

(2) 安全で快適な自転車通行空間の創出 99,000千円

第2次埼玉県自転車活用推進計画(令和4年7月策定)に基づき安全で快適な自転車通行空間を創出する。
 (令和5年度実施箇所：練馬川口線など10箇所)

○ 整備例

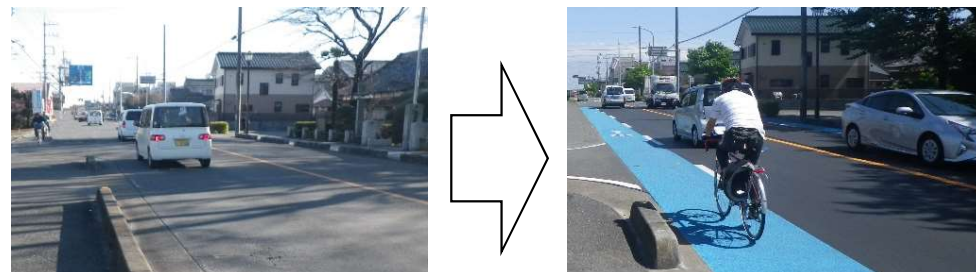
・ 歩道整備(勅使河原本庄線：上里町)



整備前

整備後

・ 自転車通行空間整備(所沢狭山線：狭山市)



整備前

整備後

担当 道路街路課 交通安全施設整備担当
内線 5097

目的

埼玉県内の交通事故の約6割が交差点及びその付近で発生しており、右折帯のない交差点では交通渋滞が発生している。交差点整備を実施した箇所では、交通事故件数が約3割、最大渋滞長が約6割減少するという効果が得られている。引き続き交通事故の減少や交通渋滞の緩和を図るため、交差点整備を進める。

事業概要

1 円滑な交通と安全を確保する交差点整備の推進 925,000千円

(1) 円滑な交通と安全を確保する交差点整備の推進 925,000千円

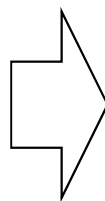
交通事故が多く発生している交差点や最大渋滞長100m以上、最大通過時間2分以上の交差点などから整備箇所を選定し、右折帯や右折避譲帯などの交差点整備を推進する。

(令和5年度実施箇所：川越栗橋線など34箇所)

○ 整備例（交差点整備、保谷志木線：朝霞市）



整備前



整備後

担当 道路環境課 補修担当
内線 5105

目 的

道路は、県民の生活を支える重要かつ身近なインフラであることから、適切な維持管理を行い、道路利用者や周辺住民の安全・安心を確保する。

事業概要

1 道路交通の安全確保及び道路利用者及び沿道移住者の生活環境の保全 15,086,069千円

(1) 舗装の維持管理 10,787,800千円

舗装の維持管理は、安全で円滑な交通を確保するため、ひび割れ率など舗装の健全度を考慮した計画的な修繕と、突発的に発生した穴等の応急的な補修を効率的に組み合わせて実施する。

また、舗装の長寿命化を踏まえ、舗装表面だけでなく路盤等も含めた修繕も実施する。

(令和5年度 舗装指定修繕実施箇所：行田蓮田線など223箇所)



舗装の修繕



道路の防草対策



(2) その他の道路の維持管理 4,255,369千円

雑草の刈払いや街路樹の剪定、交通の支障物の除去を実施し、安全・安心で快適な道路空間を確保する。また、道路の通行環境を改善するため、雑草繁茂箇所に対し、防草対策を実施する。

そのほか、側溝新設や清掃など道路冠水対策及び降雪時の除雪を行い、災害時における道路交通機能の確保にも努める。

(令和5年度 防草対策実施箇所：国道140号など31箇所)

(3) 路面下空洞調査 42,900千円

道路パトロールによる日常的な道路の巡視に加えて、地中レーダーを用いて、路面陥没につながる路面下の空洞の発見や修繕を実施する。

(令和5年度 路面下空洞調査実施箇所：国道125号など5路線)



道路の陥没事例



路面下空洞調査の状況

一部新規

担当 建設管理課 技術管理担当
内線 5201

道路環境課 道路環境担当
内線 5103

河川環境課 河川維持担当
内線 5114

目的

建設生産の各プロセスにおいて3Dデータを始めとするインフラデータを効率的に利活用するとともに、インフラデータを活用するための基盤の整備などを行い、インフラ建設管理におけるDXを推進する。

事業概要

1 i-Constructionの推進 371,480千円

(1) 3D環境整備 6,480千円
3Dデータに対応できる高性能PC及び3D-CADソフトを発注課所等に配備する。

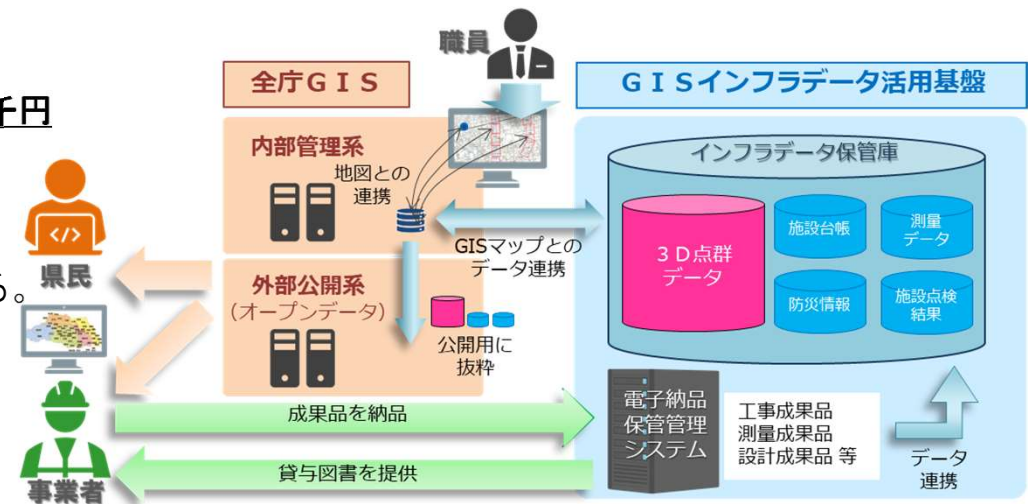
(2) 3D測量 365,000千円
調査、設計、施工及び維持管理において3Dデータを活用し、生産性の向上や公共工事の品質確保を図るため、県が管理する道路や河川において3D測量を実施する。



2 インフラデータ活用基盤の整備 151,772千円

(1) インフラデータ保管庫の整備 (新規) 122,600千円
3Dデータを始めとする、大容量のインフラデータを格納する保管庫を整備する。
また、全庁GISとデータ連携を行い、地図上から、簡単にインフラデータを検索して活用できる環境を構築する。

(2) 電子納品保管管理システム開発 (新規) 29,172千円
事業者から納品された電子成果物を保管・管理し、事業者オンラインによる貸与図書の提供を可能とする。



担当 河川環境課 河川維持担当 ダム管理担当 河川設備担当
 河川砂防課 荒川上流域・砂防担当
 内線 5114、5116、5141

目的

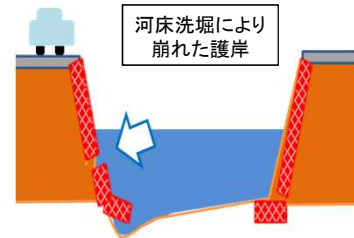
老朽化により損傷した護岸や経年的に堆積した土砂等は、護岸の崩壊に伴う堤防の決壊や溢水による浸水被害の要因ともなりうる。近年多発する異常降雨から県民の安心安全を守るため、堆積土砂の撤去や老朽化した護岸の修繕に努めている。
 また、河川や砂防施設については、その機能を発揮させるため適切な維持管理が重要となっている。ダムや排水機場、砂防関係施設などにおいては、長寿命化計画に基づき計画的な施設の更新を図っている。

事業概要

1 河川・砂防施設の管理徹底、強化 12, 299, 869千円

(1) 堆積土砂の撤去や樹木の伐採 3, 935, 000千円

河道や砂防堰堤に堆積している土砂の撤去や、河道内に生えている樹木の伐採を行い、適切な機能を回復させる。



(2) 局所的な洗堀や河床低下対策 2, 119, 000千円

局所的な洗堀や河床低下対策等を実施し、施設の機能回復を図る。



(3) 長寿命化計画に基づく施設の更新等 6, 245, 869千円

排水機場、砂防関係施設及びダムの点検を行い、施設の健全度に合わせた適切かつ計画的な維持管理、更新を実施することにより、河川管理施設等の長寿命化を図る。



担当 道路街路課 国道担当、県道担当、街路担当
内線 5074

目的

直轄国道等を軸とした骨太の幹線道路網の形成により、企業立地の促進などの地域経済の活性化のほか、災害発生時における輸送路のリダンダンシー確保による県土の強靱化を図る。

事業概要

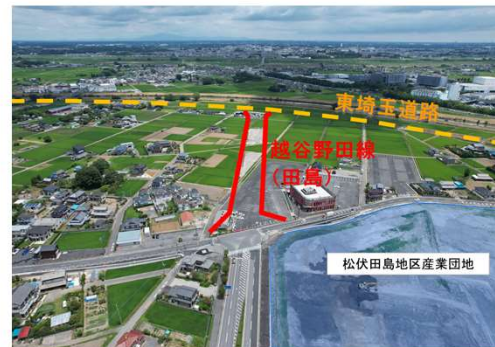
1 直轄事業と連携した骨太の道づくり 4,439,380千円

(1) 直轄国道の整備と連携した県管理道路の整備推進 4,439,380千円

現在事業中の直轄国道に繋がる県管理道路や地域高規格道路（県施行）の整備を14路線17箇所を実施する。



	路線名	市町村	工区名
①	国道140号	秩父市	大滝トンネル 長尾根BP
②	国道254号	朝霞市、志木市 和光市	和光富士見BP 和光BP
③	さいたま鴻巣線	北本市	高尾
④	川越越生線	鶴ヶ島市	新川越越生
⑤	東松山鴻巣線	吉見町	久保田
⑥	上里鬼石線	上里町	神保原
⑦	本庄寄居線	本庄市	本町
⑧	越谷野田線	松伏町 松伏町	松伏西 田島
⑨	柿木町蒲生線	草加市・越谷市	
⑩	越谷流山線	三郷市、吉川市	半田
⑪	(都)南浦和越谷線	越谷市	1工区
⑫	(都)浦和野田線	越谷市	元荒川
⑬	(都)三郷流山線	三郷市、吉川市	彦糸
⑭	蓮田白岡久喜線	蓮田市	蓮田SIC



整備状況
越谷野田線 (田島)

担当 道路街路課 国道担当、県道担当
内線 5074

目的

産業拠点へのアクセス道路の重点的な整備により、円滑な交通を確保し、周辺の渋滞緩和や地域の振興を図る。

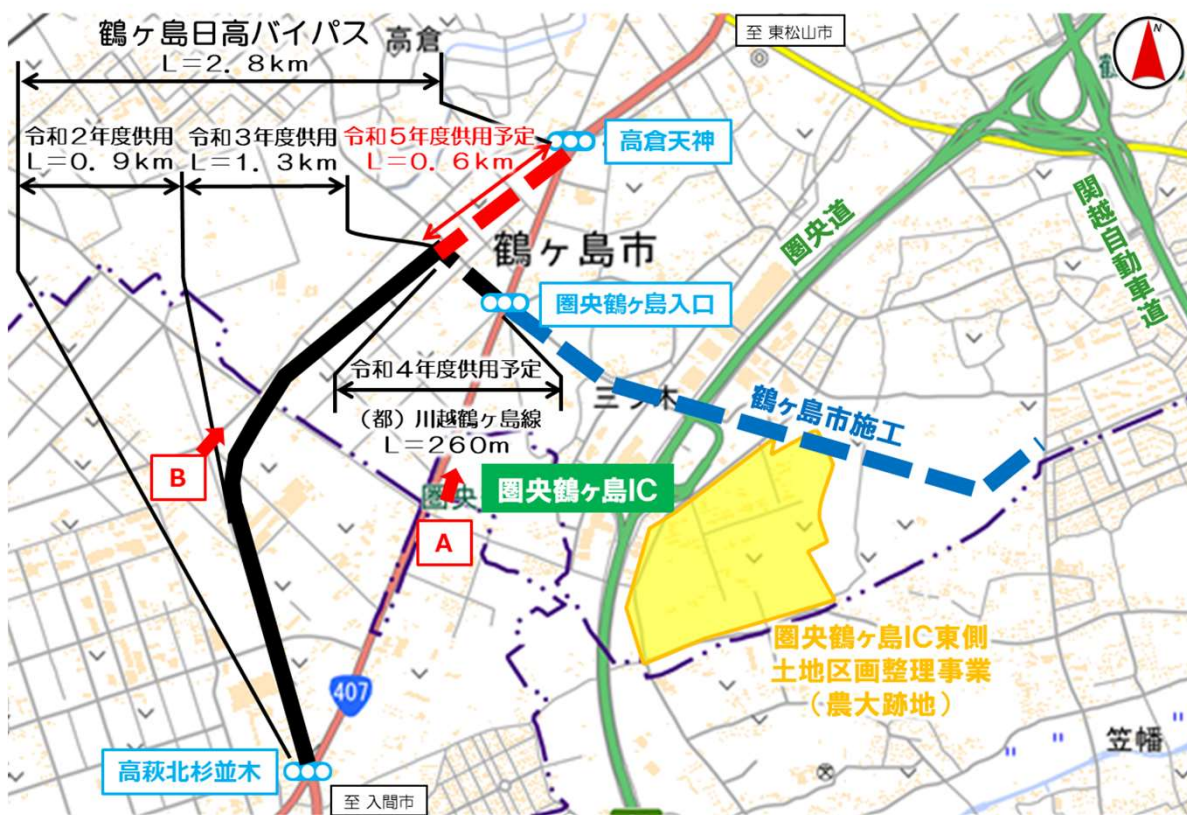
事業概要

1 産業拠点を支えるインフラ整備 1,692,200千円

(1) 産業拠点へのアクセス道路の整備 1,692,200千円

産業団地の造成が予定されている箇所などへのアクセス道路整備を9路線9箇所を実施する。

○実施箇所例(国道407号)



○事業実施箇所

	路線	工区	市町村
①	東松山鴻巣線	久保田	吉見町
②	国道407号	鶴ヶ島日高BP	鶴ヶ島市
③	青山熊谷線	岡・中曽根	東松山市、熊谷市
④	熊谷羽生線	上之	熊谷市
⑤	深谷嵐山線	上原	深谷市
⑥	花園本庄線	武蔵野	深谷市
⑦	赤浜小川線	富田	寄居町
⑧	越谷野田線	田島	松伏町
⑨	行田蓮田線	下栢山	蓮田市



現道の渋滞状況
国道407号(鶴ヶ島市内)

整備状況
国道407号(鶴ヶ島日高BP)

担当 道路街路課 街路担当
内線 5056

目的

春日部駅付近は、ピーク時1時間当たり40分以上遮断しているいわゆる「開かずの踏切」を含む複数の踏切が集中しており、交通渋滞や踏切事故、中心市街地の分断などの問題が生じている。

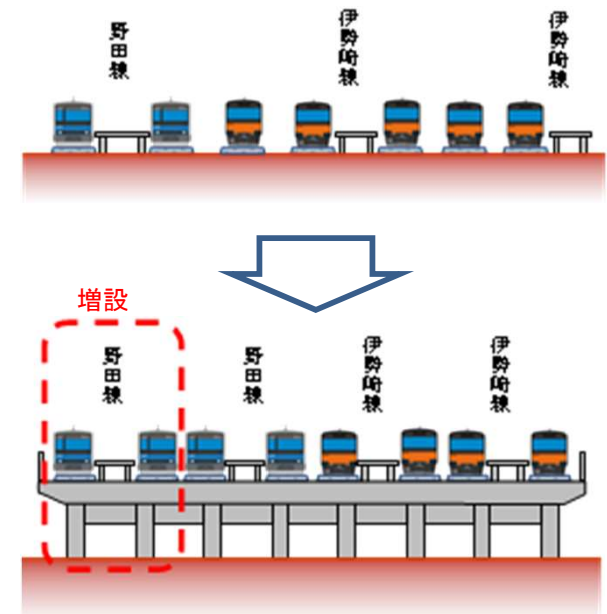
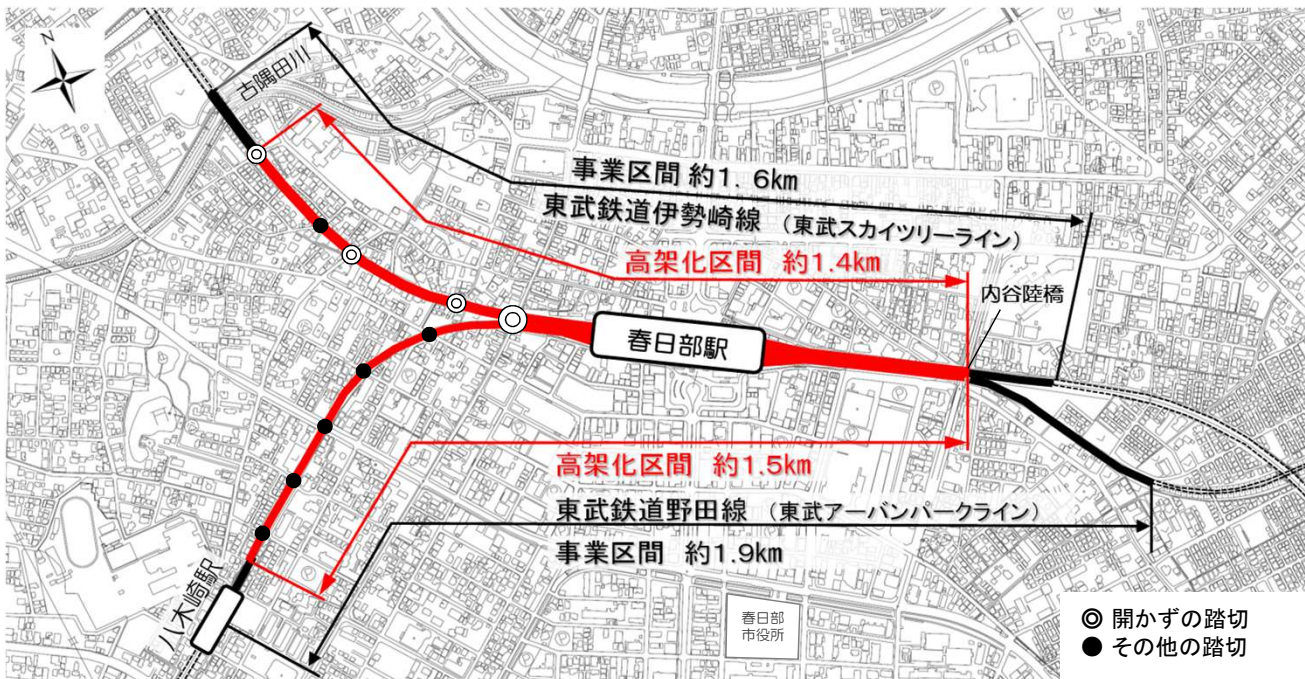
このような状況を解消するため、鉄道を高架化し、複数の踏切を除却することにより、走行時間の短縮や交通安全の確保はもとより、地域の賑わいの創出や沿線の利便性の向上などの効果発現を目指す。

事業概要

1 鉄道高架で踏切ゼロ！の推進 3, 172, 191千円

(1) 連続立体交差事業費 3, 172, 191千円

東武鉄道伊勢崎線・野田線の春日部駅付近を高架化することにより、10箇所の踏切を除却する。さらに、春日部市による駅周辺のまちづくりや鉄道事業者による鉄道機能の増強等を併せて行い、事業効果を最大限に発揮する。



担当 河川環境課 河川環境担当
内線 5112

目的

埼玉版SDGsでは、重点テーマの1つに「埼玉の豊かな水と緑を守り育む」を掲げ、豊かな自然と共生しながら持続的に発展する埼玉の実現を目指している。

そこで魅力的な水辺空間の保全・創出と良好な水辺環境の保全の視点から多様な主体と連携しながら河川空間の利活用を推進する「Next川の再生」に取り組む。

事業概要

1 Next川の再生の推進 604,917千円

(1) 民間事業者等と連携した水辺空間の利活用 454,917千円

〔水辺deベンチャーチャレンジ〕

企業や観光協会などと連携して民間のアイデアやノウハウを活用した新たな水辺空間の利活用を推進するため施設整備を実施する。

(2) 自然や生物、景観に配慮した河川整備 80,000千円

護岸の修繕に合わせて、生物の生息に配慮し水際の整備を行い、地域に親しまれる水辺空間づくりを推進する。

(3) 地域活動と連携した河川の浚渫等 70,000千円

河川や調節池において、住民等による積極的な美化活動等と連携して、土砂やごみ等の撤去を実施する。

〔水辺deベンチャーチャレンジ〕

